

2022年4月20日

各位

株式会社 北九州銀行

飯野物産株式会社の「SDGs 経営立ち上げ支援サービス」利用による『SDGs 宣言』策定について

北九州銀行（頭取 嘉藤 晃玉）は、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、「SDGs 経営立ち上げ支援サービス」を開始しており、お客さまのSDGsに関する取り組み状況の診断と今後の課題抽出を行うことで、『SDGs 宣言』の策定に向けた支援を行っております。この度、当サービスを通じて、『SDGs 宣言』を策定されたお客さまについて、下記のとおりお知らせします。

当行は、地域の皆さまと共に歩み、共に成長するため、様々な事業活動を通じて、多様な課題の解決に取り組み、地域の価値向上を実践していくことにより、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 企業概要

企業名	飯野物産株式会社
所在地	福岡県北九州市門司区栄町1番5号
代表者	飯野 真一
業種	建設設備資材卸売業
URL	https://www.iinobussan.jp

※飯野物産株式会社の『SDGs 宣言』については、別紙をご参照ください。

2. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「②地域におけるイノベーション、地域産業の成長サポート」の実現に資する取り組みです。

 地域社会・経済活性化への取り組み	①人口減少・少子高齢化への対応 ②地域におけるイノベーション創出、地域産業の成長サポート ③地域コミュニティとの連携強化 ④商品・サービスの安全性と品質向上	 環境保全への取り組み	⑤省資源・省/創エネルギーへの対応 ⑥大気汚染・気候変動への対応 ⑦環境に配慮した商品・サービス開発
 従業員全員の働きがいへの取り組み	⑧人材育成・研修機会の創出 ⑨安心・安全な労働環境作り ⑩多様な人材の活躍 （ダイバーシティ&インクルージョン）	 強固な経営基盤づくりへの取り組み	⑪ガバナンス体制・内部統制の強化 ⑫経営の透明性向上と説明責任

以上

【本件に関するお問合せ先】

ワイエムコンサルティング株式会社 担当：森山 TEL：082-567-5280
 株式会社北九州銀行 事業性評価部 担当：高木 TEL：082-258-9910



飯野物産株式会社 SDGs宣言

当社は、「堅実 信用 奉仕」という経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年3月4日

飯野物産株式会社
代表取締役 飯野 真一



重点項目(ターゲット2030)

豊かな住環境の創造

住宅設備機器商社として、人々が快適に暮らせる豊かな住環境の創造の一翼を担ってまいりました。今後も新たな生活様式の提案等を通じて、お客様の住環境の更なる充実に向けたご支援を行ってまいります。

【主な取り組み】

住宅設備の仕入れから施工までを一括対応
アフターフォロー体制の構築
リフォームを通じた新しい生活様式の提案



環境への配慮

廃棄物・リサイクル(3R)等の環境課題を重要な経営課題として認識し、再エネやリサイクル等の取組を強化します。また、省エネ関連製品の販売を通じて、環境に配慮した経営を行ってまいります。

【主な取り組み】

廃棄物処理費等の検証及び削減目標の設定
センサー照明やエコ給湯等の省エネ関連製品の普及
太陽光発電の導入



安心して働ける職場環境づくり

社員と定期的な面談を行うことで、社員の意見を反映した働きやすい労働環境の実現を目指します。社員が自分自身の成長を実感し、安心して働ける職場づくりに取り組んでまいります。

【主な取り組み】

ワークライフバランスの推進(2021年実績:年間休日126日)、ハラスメント委員会の設置、研修への参加、希望職種への配置転換



信頼される企業

個人情報保護や組織体制の構築、コンプライアンスの順守に努めます。今後も、更なるガバナンスの強化に取り組み、ステークホルダーの皆さまから信頼される企業を目指します。

【主な取り組み】

個人情報保護法に則った管理統制の実施、社内規定や就業規則等の整備、各種制度の整備による組織体制の構築



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。